

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ（エス）を楽しみ、参加する（エンジョイ&ジョイン）ための情報提供がジョイエスの役割です



1月にオンライン併用で開催した総代意見交換会では、総代から多くの質問や意見が寄せられました（関連記事 P2）

P3-5
特集

【鼎談】
「風車がつなぐ、秋田県にかほ市と
生活クラブ東京の地域間連携」

伊藤 実さん（伊藤製麺所 代表取締役）
鈴木 伸予さん（一般社団法人グリーンファンド秋田 事務局長）
増田 和美さん（生活クラブ東京 理事長）

- P2 総代意見交換会 開催報告
- P6 イベント案内（展示会・協同村・生活クラブの学校）
- P7 リレーコラム「消費材を育てた組合員と
生産者の絆をより強める年に」
わたしの声 Q&A・わたしの声カードなど
- P8 那須山麓米田植え交流会 参加者募集

組織の概要（2023年2月末現在）

- 組合員数（デポー含む）92,780人 ●2月度加入559人／脱退791人
- 2月度利用高 17億3,705万円／世帯当り23,771円（デポー除く）



今なら 紹介してくれたあなたに
温州みかんジュースを
プレゼント!

2023年6月30日まで

紹介は
こちらから

詳しくは、同時配布の
チラシまたはWEBを
ご覧ください。



容量: 485ml



増田和美さん 生活クラブ東京 理事長
鈴木伸予さん (一社)グリーンファンド秋田 事務局長
伊藤実さん 伊藤製麺所 代表取締役

増田 風車が建って10年になり、伊藤さんと組合員が夢風ブランドとして開発したタラーメンも、東京の定番消費材になっています。風車建設にかほ市との連携に、当時は生活クラブ神奈川の副理事長として関わってきた鈴木さんから、経緯をお話いただけますか。

鈴木 首都圏の組合員と風車の建設地との連携方法を模索していたところ、当時の副市長さんから、「にかほ市は過疎が深刻なので、首都圏の人との交流や特産品の販売をしてほしい」と要望されました。にかほ市の観光課からの紹介で、生産者に会いに行きました。

増田 伊藤さんは生活クラブのことはご存じでしたか。

組合員との開発が信頼関係を育む

生活クラブ東京では、秋田県にかほ市に生活クラブ風車「夢風」の建設が決まった当初より、風車で発電した電気を首都圏の消費者が買うだけではない、風車のある地域とのオルタナティブな経済作りをめざした取組みをすすめてきました。その取組みの一つが、にかほ市の生産者と首都圏の組合員が協力して開発した「夢風ブランド」です。生活クラブ東京の組合員は伊藤製麺所の伊藤さんと連携し、「タラーメン(醤油味)」を夢風ブランドとして開発しました。

2012年の風車建設から10年をかけて築いてきた、にかほ市のみなさんと生活クラブ組合員との地域間連携の経緯と成果を振り返り、今後の取組みを考えます。

風車がつなぐ、秋田県にかほ市と生活クラブ東京の地域間連携

生活クラブのエネルギーに関する主な取組みと社会の出来事	
2010年6月	第5次長期計画(2010-2014年)でエネルギー問題を切り口とした環境政策を策定
2010年11月	首都圏4単協*で風車建設推進チームを設置。創エネルギーの取組み検討開始
2011年3月	東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発災
2012年3月	生活クラブ首都圏4単協の共同出資と組合員からの寄付等により生活クラブ風車「夢風」を秋田県にかほ市に建設
2012年4月	首都圏4単協の41事業所へ生活クラブ風車「夢風」の電気をグリーン電力として供給開始
2013年8月	にかほ市と生活クラブの連携強化のための「地域間連携による持続可能な自然エネルギー社会づくり」に向けた共同宣言
2014年10月	全国の生活クラブの出資により、電力小売会社(株)生活クラブエナジー設立
2015年4月	(株)生活クラブエナジーによる生活クラブ事業所への電気の供給開始
2015年度	組合員にかほ市生産者との夢風ブランドの開発開始
2016年6月	生活クラブ組合員家庭の電気の共同購入開始
2016年度	生活クラブ東京と伊藤製麺所で開発した「タラーメン」をはじめとした、夢風ブランドの取組みを開始
2020年10月	組合員と共にスープを再開発した「タラーメン」の取組みを開始

伊藤 生活クラブのことは知りませんでした。市役所からは「生活クラブっていう食にこだわった団体に伊藤製麺所の象潟うどんを紹介したい」と聞いていました。

増田 組合員との開発が始まるまでは、どのような道でしたか。

鈴木 生産者同士の横の関係を作ろうと、「夢風ブランド開発生産者連絡会」を立ち上げました。最初は象潟うどんなど、にかほ市の特産品から取組みを始めました。次に関係性ができる中で、生活クラブから夢風ブランドの開発を提案しました。

伊藤 伊藤製麺所では、元々あった「タラーメン(塩味)」のバリエーションとして、鯖しよつたるを使った「タラーメン(醤油味)」を開発することにしました。

増田 スープや麺について、伊藤さんには考えられないような提案

総代意見交換会 開催報告



質問・意見を求められ、挙手をする会場参加の総代

生活協同組合は組合員の暮らしをよりよいものとするをめぐり、組合員自身の手で出資・利用・運営する組織です。毎年6月に組合員の代表(総代)による総代会を開催し、活動の振返りと方針決定をしています。2023年度の総代会に向けた総代意見交換会を1月26日(木)に会場とオンラインを併用して開催し、総代87人(会場54人、オンライン33人)が参加しました。

FEC 自給圏*1と働く場づくりを基本テーマに 居場所と出番のある組織と地域社会づくりで「ローカルSDGs*2」の実現をめざそう!



増田理事長



小寺副理事長

冒頭、増田理事長より「昨年11月に韓国で開催されたアジア姉妹会議*3・代表者会議では、生活クラブ東京の実践として地域で行ったキャラバンやマルシェ、クリーンアップ大作戦などを報告しました。2カ国の参加者からは、豊富な活動に驚きの声が上がりました。多くの質問が寄せられ、事業や活動につなげようという強い思いを感じました。2023年度秋には東京での開催が予定されています。詳細が決まりましたら、みなさんもご参加ください。」と挨拶があり、積極的な発言を呼び掛けられました。

続いて、金丸専務理事と小寺副理事長より2023年度運動方針および事業計画案骨子が提案され、18人の総代から26件の質問・意見がありました。「酪農を支えるための今後の計画」、「鳥インフルエンザによる影響と鶏卵供給の見通し」、「高齢者が利用し続けるための施策」、「マンション拡大の状況」、「エコロタすけあい制度(生活保障)の申請限度額」など活発な意見交換が行われ、生活クラブへの期待を共有しました。最後に、総代からの意見を今後の方針や活動の参考にし、よりおおせいで活動をすすめることを確認しました。

2023年度方針の方向性

ロシアによるウクライナ侵攻の開始から1年が経過しました。収束が見通せない中、昨年12月に日本政府は安全保障政策に関する3文書*4を閣議決定しました。これは日本が堅持してきた「専守防衛」の姿勢からの大きな転換であり、軍備費用の増強も進めようとしています。武力で平和はつくりだせないことを一人ひとりが強く発信し、戦争のない世界をめざして平和活動を推進することに注力していきます。市場と同じく、生活クラブの提携酪農家も利用の低迷により危機的な状況です。生活クラブの牛乳の利用は、遺伝子組み換えでない飼

料の取組みの推進やリユース運動、自給率の向上につながります。2023年は酪農を応援する年として、組合員の利用結集や酪農応援カンパの実施、牛乳応援基金の創設などを行います。また、日本全体の酪農業界の発展に向けた政策提案運動にも取り組みます。2023年度は第7次長期計画(2020年度~2024年度)の4年目です。より地域に根付いたFEC 自給圏とローカルSDGsづくりをそれぞれの地域の状況に応じて推進していきます。

*1 FEC 自給圏:食(Foods)、エネルギー(Energy)、福祉(Care)を地域内で自給しようとする構想。経済評論家の故内橋克人氏が提唱。
*2 ローカルSDGs:各地域が足元にある地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支えあうことにより、環境・経済・社会が統合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮されることをめざす考え。環境省が提唱。
*3 アジア姉妹会議:1999年に生活クラブ連合会と主婦連盟生協(台湾)、幸福中心生協連合会(韓国)の3生協が姉妹提携を結んで以来、お互いの活動を学び合うための交流を実施しています。2022年度の「アジア姉妹会議・代表者会議」の報告はこちらからご覧いただけます。生活クラブ連合会WEBサイト▶
*4 安全保障に関する3文書:国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画





増田 この10年で伊藤さんの気持ちに変化はありましたか。

新たな挑戦を通してさらに連携をひろげよう

伊藤 タラーメンの取組みが始まってからも、日南工業と検討を続けていました。再開発が始まるまでは時間がかかりましたが、組合員の参加から新しいスープの完成までは短期間ですすみました。

増田 再開発には私も参加しまし

伊藤 タラーメンができる前と後では、私の気持ちもすごく変わりました。生活クラブは売り先の一つとして考えていっていませんでしたが、交流と一緒に開発したことで、経緯を含めて商品を大事に思うようになりました。夢風ブランドがな

鈴木 他の新規開発も検討していますが、まずは夢風ブランドの生産者を増やしていきたいですね。



鈴木 今年度は小学生向けに風車を見学して、再生可能エネルギーを体験する夏休み企画を計画しています。

増田 新しい取組みの芽が見えて、楽しみが増えました。生活クラブにかほ市の繋がりを強めていくために、これからも工夫して取組みをすすめていきたいと思います。

生活クラブでんきに切り替えて再生可能エネルギーの拡大と電気の産地との連携に参加しよう!



生活クラブでんきスイッチングキャンペーン実施中 ▲詳細はこちら

タラーメン 260g (麺180g、スープ40g×2) 382円(税込) アレルゲン: 麦・豆

5月5回(22週)は他3品の夢風ブランドも取組み予定です

企画	申込締切	配達
4月2回(15週)	4/3~4/8	4/24~4/28
5月2回(19週)	5/1~5/6	5/22~5/26
5月5回(22週)	5/22~5/27	6/12~6/16

※詳細は週刊生活クラブ東京をご覧ください

課題を組合員と共に解決した、スープの再開発

増田 タラーメンは麺の伊藤製麺所とスープの日南工業の二社で開発されているので、スープの開発は難しいかと思っていました。

伊藤 麺は自分に知識があるので、言われた事の対応をすぐ考えられますが、スープは調整が難しかったし時間もかかりました。

鈴木 スープの原材料は、取組み当初から課題になっていました。どのように再開発するか、時間をかけて検討していましたよ。

増田 再開発により、生活クラブの自主基準に則った、胸を張って「消費材」といえるものが作れました。伊藤さんの人となりも含めて、たくさん組合員に伝えていきたいです。

鈴木 夢風ブランドは生活クラブのオリジナル品として、国産原材料をできる限り使用することと化学調味料不使用(無化調)で開発をしています。塩味は今も化学調味料を使っているんですね。伊藤さん、塩味の再開発に取り組みのほうでしょうか。

増田 今年度は小学生向けに風車を見学して、再生可能エネルギーを体験する夏休み企画を計画しています。

鈴木 夢風ブランドとしての生産者が限られています。

鈴木 今年度は小学生向けに風車を見学して、再生可能エネルギーを体験する夏休み企画を計画しています。

鈴木 今年度は小学生向けに風車を見学して、再生可能エネルギーを体験する夏休み企画を計画しています。

鈴木 今年度は小学生向けに風車を見学して、再生可能エネルギーを体験する夏休み企画を計画しています。



【夢風ブランド】生活クラブ組合員とにかほ市の生産者が共に作り上げたオリジナル品。にかほ市の特産品をいかした味わいが好評です。左から タラーメン(伊藤製麺所)、鯉しよつつ(日南工業)、純米大吟醸・夢風(柳飛良泉本舗)、はたはたおいる漬(前三浦米太郎商店)



もあつたかと思えます。一消費者である組合員との開発を、どう感じられましたか。

伊藤 最初に組合員のみなさんと会った時は緊張しました。みなさんの知識の豊富さや消費材への誇りに対して、覚悟を決めていかないと厳しいかなと感じていました。最初は身構えましたが私のことも気遣ってくれて、「できないけれど大丈夫だよ」という話から始まりました。「これはできる、これはできない」と麺やスープの成分を一つひとつ決めていきました。それまでは一人で開発して一人で販売する商売の仕方だったので、みんなで一つのものを決めていくのがすごく楽しくて。これこそが商品作りだと、楽しみながらすすめました。

組合員リーダーツアーでにかほ市を訪問しました!

2022年7月23日・24日に開催された「組合員リーダーツアー」に、小学校3年生の長女と一緒に参加しました。私も娘も風車を見るのは初めてでした。生活クラブ風車「夢風」が立つ場所に着くと、にかほ市役所の生活クラブ担当の方、芹田地区の会長・前会長が温かく迎えてくれました。芹田自治会館には歴代のリーダーツアーの写真が飾ってあり、実家に帰省したかのようでした。夢風には風車の詳細のほかに、出資者として東京・神奈川・千葉・埼玉の生活クラブのまち名がずらりと書いてあり、自分のまち「まちあだち」を娘と一生懸命探しました。その土地を訪れてみて、首都圏に住む組合員が出資や寄付をしたこと、ただ風車をにかほに立てるだけでなく、そこに住む人々と交流し地域で暮らす人のことを考えて、タラーメンをはじめとした夢風ブランドや地元の特産品を共同購入していることを実感しました。また、風車を管理する方と会い、電気も他の消費材と同じと感じました。組合員全員が生活クラブでんきに切り替えると、日本の再エネ率は1%上がるそうです。電力会社の切替えは一見大変そうですが、未来を生きる子どもたちのために自国で賄えるエネルギーを選択してもらいたい。一人でも多くの人ににかほ市と生活クラブの温かいつながりの話をして、エネルギーを考えるきっかけを作りたいです。



▲風車のラベルに自分のまち名を見つけて記念撮影

うし、風車がかほ市のみなさんと生活クラブの組合員との思いをつなげてくれたと感じています。

「セントの向こう」に、電気につながる生産者

増田 生活クラブの電気の共同購入は、「電気の産地との連携」を掲げて活動を推進してきました。

鈴木 風車建設をきっかけにした電気の産地と消費者の連携事例として「にかほモデル」と紹介されたり、取材を受けたりしています。

増田 生活クラブの実践が社会でも認められてきていますね。

鈴木 にかほ市で発電した電気を東京で使うだけでは、原発と構造は変わらない。にかほの風から電気をつくるのだから、にかほ市の方は「電気の生産者」です。生産

鈴木 組合員は、開示された情報に対して納得できればいいというスタンスです。

鈴木 「夢風ブランド」を通して、多くの組合員がかほ市や夢風、生活クラブでんきを知って、応援してほしいという思いで、にかほ市の生産者との開発を始めました。

増田 組合員が切り替えの意義を理解する一つの事例として、にか

鈴木 スポットで商品を出してくれる方はいるのですが、夢風ブランドは一定の量が作れないと配送で取り組めないのが、対応できる生産者が限られています。

鈴木 夢風ブランドとしての生産はどこも厳しそうですね。

鈴木 10年経ったので、もう少し交流の範囲を広げていきたいです。漁師の方とか、可能性を調査しているところですよ。

田んぼに入って、
私たちの「米」を知ろう！

那須山麓米田植え交流会

▲那須塩原にある交流田

毎日食べている、おいしい「ごはん」。その米がどのように育てられているかご存じですか？
栃木県にある、那須山麓米生産者グループ「どではら会」の田んぼでの田植えや稲刈り体験で、
私たちの「米」がもっとおいしくいただけます。
「つくる」と「食べる」の距離を縮め、生産者との関係を深められる那須山麓米交流会にご参加ください！

参加者募集

田植え交流会 5月20日(土)



おおぜいの組合員で小さな苗を植えます。柔らかない田んぼの泥が気持ちいい！

稲刈り交流会 9月30日(土)



秋になったら、田んぼで稲刈り。
あんなに小さかった苗が立派な稲に育っています！
※田植え交流会ご参加の方に、別途ご案内をお送りします。

迎える交流会

11月には那須山麓米の生産者を東京の各地域にお招きし、交流会を開催する予定です。

申込要領

開催
日時

5月20日(土)
AM7:15 ~ PM6:00

当日は新宿駅付近で集合・解散。貸切バスで移動します。
帰着は道路状況により、前後する可能性があります。

参加費
1人当たり
(税込)

大人 4,000 円
3歳~小学生 3,500 円

昼食代含む ※事前の振り込み

申込
方法

WEB または お電話で
T-LIFE ホールディングス株式会社
本社第2支店予約担当 細井

TEL : 03-6758-4342

受付: 9:00 ~ 18:00 (土・日をのぞく)
※「旅行条件(全文)」を必ずご確認の上お申込みください。
https://www.t-life.co.jp/pdf/joken_shusai_domestic.pdf?220101

(T-LIFE ホールディングス株式会社 WEB サイト)



お申し込み



旅行条件

【申込締切 4月10日(月)】

注意
事項

- ① 3歳以下のお子さんは参加できません。
- ② 長時間のバス移動となります。車酔いされる方はご遠慮ください。
- ③ 申込多数の場合抽選し 4月27日(木) までに結果をご連絡します。
- ④ 雨天決行。現地では生産者との交流会を行います。
- ⑤ キャンセルの取扱い詳細についても、抽選後のご案内でお知らせします。

【旅行企画・実施】

T-LIFE ホールディングス株式会社
観光庁長官登録旅行業 第197号
〒179-0075 東京都練馬区高松5-11-26 光が丘MKビル4階
総合旅行業務取扱管理者 細井 集一

※旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し担当者からのご説明にご不明な点がありましたら、遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。

【企画内容に関する問い合わせ】

生活クラブ東京 政策調整部
TEL : 03-5426-5204

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止となる可能性があります。その場合は参加予定の方にご連絡します。

生活クラブ東京の
最新情報を
WEB・SNSで発信中！

生活クラブ
東京



WEB サイト



Facebook



Instagram